

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和03年06月24日(木)

事務事業		財政状況調査事務		担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2715	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務	対象拡大 サービス拡充	有□	有□	
	行計画分野策別名	大項目	200006	みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令 個別計画等					
		中項目	200002	将来に向けた持続可能なまちづくり						
	小項目	200003	行政運営の推進							
事業概要		市の財政について決算審査、財政計画の策定管理、財務4表や健全化4比率の作成など多角的な視点から分析し、財政状況の把握及び計画的な財政運営につなげる。また、これらの財務分析情報については、適切に公表を行うことにより、市民に対する財政状況の提供に努める。（なお、予算については、財政管理事務を構成する行政管理事務費において、統一的な基準に基づく公会計制度の導入に伴う支援業務委託料等を計上。）								
目的 ※何のために		多角的な視点から市の財政状況を分析し、計画的な財政運営を図るとともに、分析した情報について、市民に対して公表を行い、財政状況の周知に努める								
対象 ※誰・何を対象に		分析対象：市の財政 提供対象：市民								
手段 ※どのように		決算審査および財政計画の策定管理、財務4表（貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書）の作成・公表を行う。								
成果 ※何を求めるか		財政状況を把握し、適正な財政運営につなげる。								
執行体制		<input type="checkbox"/> 市職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
			00	00	00			0		
			00	00	00			0		
			00	00	00			0		
			00	00	00			0		
			00	00	00			0		
本事業の 主な業務		・ 決算審査				・				
		・ 決算統計				・				
		・ 財政計画策定・管理				・				
		・ 財政健全化計画策定・管理				・				
		・ 財務4表の作成・公表				・				
		・ 財政計画、財政事情の公表				・				

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画	財務4表の作成	財務4表の作成	財務4表の作成	財務4表の作成	財務4表の作成	財務4表の作成
	決算統計	決算統計	決算統計	決算統計	決算統計	決算統計
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0
人件費	一般財源	0	0	0	0	0
	従事職員数(人)	1.06	1.03	0.78	0.78	0.78
	人件費相当試算 ※1	8,245,740	8,015,460	6,131,580	6,346,080	6,346,080
	0	0	0	0	0	0
(総事業費試算)	8,245,740	8,015,460	6,131,580	6,346,080	6,346,080	6,346,080

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3. 評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標 1	公表している財務情報数	目標値 実績値	回	8.00 9.00	8.00 8.00	8.00 8.00	8.00 8.00	8.00 0.00	8.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		財政状況を時期を捉え、公表し市民周知を図る							
		広報等への財務関係情報公表数									
■	活動指標 2	財政見通しの見直し回数	目標値 実績値	回	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		毎年度の決算を反映し、最新状態に更新する							
		実績									
■	成果指標 1	将来負担比率	目標値 実績値	%	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		財政健全化法に基づく早期健全化基準							
		財政健全化法									
□			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠									

4. 観点別評価 (A: 目標値どおり (以上) B: ほぼ目標値どおり C: 目標未達成 - : 目標値の設定がないもの)

活動 (意図した活動を行っているか)	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 予算、決算、決算カード、健全化指標、地方消費税交付金（社会保障財源）の使途状況、財政状況の公表（年2回）、財務諸表の公表を行った。また、最新の決算情報を踏まえた財政計画の更新を行い、持続可能な財政運営を見据え、令和3年度予算編成において適切な資源配分を実施した。
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 成果指標は、市の標準的な一般財源規模に対し、市が将来負担すべき地方債残高等の割合を表す「将来負担比率」を設定した。持続可能な行財政運営に向け、計画的な財政運営等の結果、今年度も財政健全化法の早期健全化基準を下回っており、市民に堅調な財政状況を周知できた。
効率性 (効率的に事務を行っているか)		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
評価者		財政課 財政係長 堀口浩正

5. 前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	令和3年度より新財務会計システムにおいて予算執行が開始されるため、新システムにおいて効率的な財務諸表作成に向けて準備を進めていく。また、新財務会計システムにより可能となるセグメント分析等を活用し、適切な財務マネジメントに繋げていく。
達成状況 及び その効果	令和2年7月より、新財務会計システムにおいて、令和3年度予算要求を開始し、円滑な予算編成作業を実施することができた。併せて、予算執行をはじめとした新システムの本格運用に向けた各ワーキンググループを実施し、新システムによる効率的な財務諸表の作成に向けた体制を構築することができた。

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	財政状況調査事務	担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2715
<div><div><div><input type="checkbox"/> ① 現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ② 見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ③ 拡充・重点化（コスト投入）</div><div><input type="checkbox"/> ④ 目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤ 廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>			評価の内容説明				
			計画的な行財政運営に努めた結果、健全化判断比率は早期健全化基準を下回っており、市民に対し、市の財政状況が堅調であることを周知できた。公会計制度については、財務会計システムの更新を通じ、効率的な作成と分析・活用に向けた環境の充実が図られてきている。 今後、国の動向等を注視しつつ、財務諸表の効果的な開示方法を含め、財政状況への市民理解の向上に努めていく。				
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？			評価者	財政課長 村尾厚彦			

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	財務諸表で得られる情報を予算編成などに活かし、効果的な資源配分に繋げる必要がある。特に、老朽化が進行する各種施設に関し、公共施設の適正配置の動向を踏まえたうえで計画的な更新・修繕となるよう、セグメント分析の実践・活用の予算編成サイクルへの位置づけを検討する。
--------	---

8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	予算編成サイクルへの位置づけを視野に入れたセグメント分析のあり方（単位など）と情報の管理・共有の方策を検討する。
-------	--

9. 評価指標グラフ

